社会福祉法人　稲美町社会福祉協議会

平成２９年度事業実績報告書

1　在宅福祉サービスの推進

(1) 職員の構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

事務局	居宅介護支援事業所	訪問看護事業所	訪問介護事業所
9 名	4 名	13 名	12 名
小規模多機能型居宅介護事業所		療養通所介護事業所	
17 名		8 名	

(2) 居宅介護支援事業所こぶしの活動状況

《事業の概要》

要介護者や要支援者からの相談を受け、自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する知識、技術を有したケアマネジャーが、心身の状況に応じた適切なサービスが受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）を作成し、居宅サービス事業者等との連絡調整等を行っています。

《現状と課題》

残念ながら、主任介護支援専門員研修修了者が役割を発揮することなく、毎年退職しています。(介護支援専門員として 5 年勤務した者は研修対象となり、地域や事業所への活動役割があります)

ケアマネジャーとして、課題分析力等質の向上が求められています。

① ケアプラン作成状況（延べ件数）　　新規：　28 名　　終了：　24 名

（平成 29 年度）

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合　計
件 数	327	294	308	234	111	77	1,351

（平成 28 年度）

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合　計
件 数	371	339	283	281	74	57	1,405

②要介護認定訪問調査　　町内：　10 件　　町外：　17 件

③友愛訪問（サービスの事前事後訪問）　29　件（自宅：20 件　その他：9 件）

④介護相談　　46 件　（ＣＭ依頼：37 件　　介護：22 件　　認知症：11 件）

＊認知症相談は CM 依頼や介護相談重複

⑤医療連携（入院時情報提供）　　63 件

⑥退院前カンファレンス参加　　21 件

⑦担当者会議　　253 件

⑧研修・出張状況

（居宅介護支援事業所　こぶし）

日付	研修名
4/7	東播磨エリア介護支援専門員研修会（2 名参加）
5/16	平成 30 年介護保険法　改正解説（2 名参加）
5/16	気づきの事例検討会
5/29	県ケアマネ協会　南播磨支部　総会及び記念講演（3 名参加）
6/8	加古川中央市民病院　地域連携会議学術講演会
6/13	気づきの事例検討会
7/12	気づきの事例検討会
7/15	在宅医療介護連絡会　ＩＴ化
5/13～7/29	主任介護支援専門員研修（全 12 回）
8/3	第１回　南播磨支部研修会（2 名参加）
8/22	気づきの事例検討会
9/11	嚥下講習会（3 名参加）
9/13	気づきの事例検討会
9/14	第１回　南播磨支部　ミニ講座
9/28	介護支援専門員等への手話講座（入門編）
9/29	主任介護支援専門員の実践
10/7	兵庫県高齢者大学ｉｎ加印
10/7	第 36 回東播臨海地区認知症連絡会
10/13	東播磨エリア主任介護支援専門員ネットワーク研修会(2 名参加)
10/14	福祉医療講演会「リクエスト講習会」
10/17	気づきの事例検討会
10/20	東播磨圏域リハビリテーション支援ｾﾝﾀｰ研修会（加古川）（3 名参加）
10/21	第４回　高砂市在宅医療推進フォーラム
11/7	兵庫県介護支援専門員実務研修　実習受け入れ説明会

11/13	東播磨圏域リハビリテーション支援ｾﾝﾀｰ研修会（高砂）（3名参加）
11/14	兵庫県認定調査委員研修
11/15	気づきの事例検討会
11/16	第7回医療・介護ケア連携研修会
12/16	兵庫県神経難病医療ネットワーク研修会（2名参加）
12/19	介護保険改正に関する研修会（2名参加）
1/17	気づきの事例検討会
1/18	南播磨支部研修
1/24	自立を支援する住まいの工夫と福祉用具
2/14	気づきの事例検討会
2/20	気づきの事例検討会
2/20	バリアフリーセミナー
3/19	兵庫県相談支援を「つなぐ」研修
3/31	平成30年度介護報酬改定説明会
3/31	平成30年度介護報酬改訂　4月からの介護保険制度の準備

・稲美町ネットワーク会議（事例検討会・認知症ケア向上研修会に参加）：年4回
・稲美町ケアマネ会議（介護保険制度改正）：5月
・主任ケアマネ活動（介護支援専門員支援・事例検討会）：（年6回）

(3) いなみ訪問看護ステーションの活動報告

《事業の概要》

看護師やセラピスト（理学療法士・作業療法士）などがお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護やリハビリを行うサービスです。本人や家族の意思・ライフスタイルを尊重して、QOL(生活の質)が向上できるよう予防的支援から看取りまでを支えます。
医師と連携して病気の発症や重症化を防止します。また、家族の相談と支援も行います。
病気や障害のために療養生活の支援を必要とする方で（乳幼児から高齢者まで）医師が訪問看護の必要を認めた方すべてが対象になります。
在宅療養が継続できるようケアマネジャーや多職種との連携にも努めています。

《現状と課題》

スタッフが増えれば、その分、依頼に応えられますが、訪問看護師の担い手が少ないことや、リハビリの依頼は多いにもかかわらず、マンパワー不足から希望にこたえることができない点

が課題です。

また、短時間訪問が増え収益に反映されにくい点が経営の課題です。

①対象者　　総数　129 名

新ケース　38 名　　終了ケース　42 名（内、在宅死亡 3 名）

②訪問件数

平成 29 年度　　訪問総延べ件数　6,340　件

	介護保険					予防介護保険				
	20 分訪問	30 分訪問	60 分訪問	90 分訪問	合計	20 分訪問	30 分訪問	60 分訪問	90 分訪問	合計
ＮＳ訪問	39	647	1,424	482	3,323	12	342	378	1	909

	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問
ＰＴＯＴ	0	389	342	2	94	80

	医療訪問	合　　計
ＮＳ訪問	1,659	2,108
ＰＴＯＴ	449	

平成 28 年度　　訪問総延べ件数　5,730　件

	介護保険					予防介護保険				
	20 分訪問	30 分訪問	60 分訪問	90 分訪問	合計	20 分訪問	30 分訪問	60 分訪問	90 分訪問	合計
ＮＳ訪問	11	575	1,551	411	3,229	10	297	353	2	789

	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問
ＰＴＯＴ	1	269	411	0	46	81

	医療訪問	合　　計
ＮＳ訪問	1,240	1,712
ＰＴＯＴ	472	

③　　主治医　　町内　9 名　　町外　60 名

④実習生受入れ

西神看護専門学校　H29 年　6 月 5 日～　6 月 19 日（2 名）

西神看護専門学校　H29 年　7 月 3 日～　7 月 18 日（2 名）

西神看護専門学校　H29 年　8 月 21 日～　9 月 4 日（2 名）

西神看護専門学校　H29年　9月29日～　10月13日（2名）

⑤ 平成29年度　研修・出張状況

（いなみ訪問看護ステーション）

日付	研修名
4/30	小児訪問リハビリテーション入門
7/22	転倒転落事故防止対策
7/27	口腔ケア研修会
7/30	終末期の浮腫ケア
8/3～1/11	褥瘡対策勉強会（全5回）
9/9	緩和ケア
9/30	地域包括ケアシステム推進研修会
9/30	褥瘡・下肢難治性潰瘍治療の最新治療
10/14	「認知症のある方の看護～在宅での対応」（2名参加）
11/17	緩和セミナー（3名参加）
1/24	自立を支援する住まいの工夫と福祉用具
3/31	平成30年度介護報酬・診療報酬改定研修

・ステーション連絡会（2ヶ月に1回開催）3回

・稲美町ネットワーク会議　　1回

・入院患者、短期入所者状況把握（退院前カンファレンス）　7件

(4) 療養通所介護事業所　ひだまり畑　活動報告

《事業の概要》

医療的ケアを要し常に看護師による観察が必要な重度の要介護者や難病の方に通所していただける施設です。また、医療依存度の高い重度心身障がい者（児）の日中一時支援も行っています。利用者1.5人に対しスタッフ1人以上の配置が必要な事業所です。

《現状と課題》

かなり重度でもデイサービスが利用できるようになってきた介護保険利用者に比べ、近隣に利用できる施設の少ない重度心身障害者の方が利用希望は多いです。ただ、体調が変化しやすい方々が利用されるので、当日になって急に休まれることがあります。そのため、臨時休業にせ

ざるをえないことがあります。開設して１０年がたち、設備や備品の経年劣化がみられ、修理・買い替えの時期が来ています。

	平成29年度	平成28年度
実　施　日　数	H29年4月1日～H30年3月31日	H28年4月1日～H29年3月31日
利用者実数	11名	14名
介護保険利用者	4名	5名
日中一時利用者	7名	9名
利用延べ回数	576回	491回

新規契約者　3名

終了者　2名（死亡：1名　入所：1名）

・臨時休業　5日（警報：1日　利用者無し：4日）

・利用の問い合せ　7件　（内訳）介護保険利用者：6件

日中一時支援：1件

①　平成29年度　研修・出張状況

日付	研修名
6/10	生活を支えるヘルパーとして医療的ケアが必要な方にできること
9/10	重症心身障害児の呼吸リハ
9/23	地域で支える看護の力　その人らしさを支える連携
10/11	社会福祉施設における看護師の役割とは
11/8～12/20	福辺節子氏の「力をひきだす介助術セミナー」（全4回）
11/26	「介護に笑いと癒しを」笑いは副作用のない万能薬
2/27	在宅人工呼吸器に関する講習会

②　実習受け入れ

西神看護専門学校　　8名　（訪問看護ステーションの実習期間中に1日）

③　安全・サービス提供管理委員会　2回　（9/7　3/15）

④　運営推進会議　1回　（3/15）

(5) 訪問介護事業所　スマイル173（いなみ）活動報告

《事業の概要》

介護援助の必要な、高齢者および障がいのある方にホームヘルパーを派遣しています。また、障がいのある方が障害福祉サービスを利用する際に必要な計画作成を行う指定特定相談支援事業も実施しています。

《現状と課題》

介護保険利用者が減り、障害福祉サービスの利用希望が多いのが現状です。長年活動してくれている登録ヘルパーが多いため、平均年齢が年々上がっています。若いスタッフの確保が課題です。

仕事が朝・夕や土日に偏る為、稼働できるスタッフに限界があり、今後依頼を断らなければいけないことも出てくると思われます。相談支援を兼務で行っているため、多くのケースを引き受けるところまでは行っていないのが現状です。

① 延べ利用者数＝ 872人（平成29年度）

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
176人	280人	5人	219人	72人	120人	0人

延べ利用者数＝917人（平成28年度）

介護保険	介護予防	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
182人	305人	1人	231人	64人	134人	0人

② 介護保険　（平成29年度）

	身体介助	生活援助	身体生活	合計
時間	1,207.5H	607.0H	461.82H	2,276.32H
回数	1,458回	689回	341回	2,488回

介護保険　（平成28年度）

	身体介助	生活援助	身体生活	合計
時間	1,131.5H	843.0H	165.56H	2,140.06H
回数	1,441回	942回	113回	2,496回

③ 訪問型サービス（総合事業）　（平成29年度）

	身体介助	生活援助	身体生活	合計

時　　間	9.00H	902.50H	525.75H	1,437.25H
回　　数	18 回	1,125 回	595 回	1,738 回

介護予防　（平成 28 年度）

	身　体　介　助	生　活　援　助	身　体　生　活	合　　計
時　　間	21.5H	1,052.75H	599.75H	1,674.0H
回　　数	43 回	1,307 回	643 回	1,993 回

④ 障害福祉サービス　（平成 29 年度）

	身体介護	家事援助	同行援護（身介伴う）	同行援護（身介伴わない）	通院介助（身介伴う）	通院介助（身介伴わない）	移動介護（身介伴う）	移動介護（身介伴わない）	合計
時間	1,110.5H	1,550.0H	54.5H	244.5H	16.0H	0H	301.5H	249H	3,526H
回数	1,510回	1,461回	53回	128回	8回	0回	297回	159回	3,616回

障害福祉サービス　（平成 28 年度）

	身体介護	家事援助	同行援護（身介伴う）	同行援護（身介伴わない）	通院介助（身介伴う）	通院介助（身介伴わない）	移動介護（身介伴う）	移動介護（身介伴わない）	合計
時間	1,537.0H	1,304.5H	26.0H	315.5H	0H	24.0H	315.5H	314.5H	3,837.0H
回数	2,069回	1,178回	15回	147回	0回	11回	236回	201回	3,857回

有料　　14 件　73.0H

エンゼルヘルパー　延べ　0 名

布団丸洗い　　延べ　4 名

⑤ 平成 29 年度　　研修・出張状況

（訪問介護事業所スマイル 173）

日付	研修名
4/25	平成 29 年度東播磨ブロックホームヘルプ事業者協議会総会 第 1 回職員研修会
6/19	平成 29 年度兵庫県ホームヘルプ事業者協議会総会・管理者研修
7/7	介護サービス事業所職員　接遇対応研修（基本編）
7/21	介護サービス事業所職員　接遇対応研修（レベルアップ編）
7/18	東播臨海精神保健協会講演会 ストレス社会を生きる　熟年夫婦の体調不良（3 名参加）

8/1	大人の発達障害のある方の現状と支援について（3名参加）
8/1	平成29年度　地域ネットワーク会議（介護保険事業所研修会）
12/15	サービス提供責任者研修
1/10～2/28	同行援護従事者研修　一般課程（全5回）
2/15	認知症の方の住まいづくり研修
2/20	平成29年度東播磨ブロックホームヘルプ事業者協議会（5名参加）
3/23	障害者総合支援法等関係事業者説明会

⑥ 指定特定相談支援事業所

延相談件数	計画作成件数	モニタリング
5	5（実人数3人）	1

⑦ 研修・出張状況（指定特定相談支援事業）

日付	研修名
4/22	第1回専門部会
2/26	兵庫県相談支援をつなぐ研修

(6) ひなたんぼ小規模多機能ホーム　活動報告

《事業の概要》

通所、宿泊、訪問をご利用者様のニーズに合わせ柔軟に組み合わせてご利用いただけます。

《現状と課題》

登録19名（要支援2～要介護5）で徐々に回復してきました。プラン外の突発的な宿泊受け入れが喜ばれています。

ご家族様の関わりが希薄な方への援助方法や判断（体調不良時の対応、金銭管理の対応）が課題です。また、認知症で独居の方への援助がどこまで可能か、マンパワーの問題もあり課題です。

① 登録・利用状況

新　規：　10件（こぶし3、包括2、他居宅1、家族4）

終　了：　6件（入所3、入院2、死亡1）

相　談：　19件（家族11、居宅6[内こぶし5]、包括2）

見　学：　9件

友愛訪問：入所、入院施設

平成29年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	15	18	18	17	18	18	17	16	17	17	19	19	209

・利用実日数（日）

通　い	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
訪　問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
泊まり	23	23	24	24	24	18	18	24	21	26	23	27	275

・利用延べ人数（人）

通　い	235	301	296	303	305	288	298	273	301	291	291	328	3,510
訪　問	111	128	115	121	109	110	73	55	56	54	71	81	1,084
泊まり	38	41	54	51	53	43	48	57	52	70	69	77	653

・介護度別利用者数及び平均介護度

支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
介護1	7	8	8	6	7	7	4	5	6	6	7	7	78
介護2	2	3	3	4	4	4	6	5	5	5	6	6	53
介護3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	22
介護4	2	3	3	3	3	3	2	1	1	1	2	2	26
介護5	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	23
平　均 介護度	2.3	2.3	2.3	2.5	2.4	2.2	2.5	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.3

② 運営推進会議（5月、7月、9月、11月、平成30年1月、3月）6回実施

会議内容：実績報告、事例報告、現状と課題について。

③ 宮本歯科医院協力にて歯科検診の実施（7月）

効果：口腔内状況の把握、ケアの必要性の確認

④　ボランティア協力

・散髪（1回／月）

・カラオケボランティア（1回／月）

・ドッグセラピー（2回／年）

・傾聴（1回／月）

⑤ 地域との交流

・加古幼稚園（２回／年）

・オープンカフェ（１回／月）

・いなみふれあいまつり、社協福祉ボランティアまつり

・近隣喫茶店・天気の良い日のドライブ

・誕生日の思い出の場所めぐり（別府、高砂の海）

・季節のお花見（御厨神社へ梅、サンスポーツランドや町内の公園へ桜）

・工場見学（グリコ）

・ひなたんぼ畑の植え付け、収穫

(7) 給食サービス

《事業の概要》

高齢や障がいなどで調理が困難な家庭に、毎週水曜日（7，8月除く）に給食ボランティアが調理したお弁当を民生委員･児童委員や民生協力委員､配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けしています。

《現状と課題》

配食数は年々減少しており、新規申込は時々ありますが現在は30食足らずです。
入院等での休止から入所になり、サービス終了というケースがよくあります。

見守りを目的に実施している事業ですが、食事の確保が必要な方にとっては、週に１回１食という内容が合っていないのが現状です。

対象者　一人暮らしの高齢者・障害者・高齢者世帯等

サービス内容　第1～第5水曜日（7月・8月除く）

利用料金　200円／回

給食サービス活動状況

	4	5	6	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	120	129	125	120	119	143	106	107	103	81	1,153人
ボランティア	39	34	34	33	35	41	35	32	36	27	346人
実施日数	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	40日
配送ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	5	6	4	3	3	4	4	4	3	3	39人

調理担当　調理ボランティア　38名

配送担当　担当民生委員　14名　民生協力委員　23名

民友会　9名　配送ボランティア　6名

(8) 外出支援サービス事業

《事業の概要》

町が実施している「いきいきセミナー」や「いきいきサロン」などへ参加したくても移動手段のない方を運転ボランティアが送迎しています。

《現状と課題》

ボランティアが減少しているため広報等よびかけをしていますが確保が難しいです。また、予定していたボランティアがキャンセルになった場合はボランティア同士調整をしていただいたり、職員が代わって対応しています。

	実利用者数	延べ利用者数	ボランティア延べ活動人数	利用日数
いきいきセミナー	15	246	325	67
リハビリ教室	3	39	64	25

参考：運転ボランティア　登録人数＝１８名

(9) 介護用具貸出事業

《事業の概要》

介護保険等を利用できない方優先に介護機器を貸出しています。

《現状と課題》

毎年多くの方にご利用いただいています。

29年度は、老朽化している車いす6台を、東播工業高等学校機械科へ提供しました。(生徒が、再生し、「空飛ぶ車椅子」として活用するため)

貸出台数（延べ）	車イス	その他（ｼｬﾜｰ椅子、歩行器等）
	177台	22台

(10) 視覚障害者用朗読テープ利用者

《事業の概要》

情報を得る事が難しい視覚障害のある方を対象にテープやCDで町広報や社協だより、新聞コラムなどの情報を音声でお届けしています。

《現状と課題》

利用者が少ないのが課題です。テレビやラジオで情報を得ているのでテープを聞くのが煩わしいという方もいます。長く利用いただいている方からは声でどのボランティアさんか分かるし、毎月楽しみにしていると言われています。

内　容	送付回数	実人数	延べ人数
広報・社協だより・新聞コラム	12	3	36

(11) 日常生活自立支援事業

《事業の概要》

在宅生活されている判断能力に不安のある高齢者や知的・精神的な障害のある方などが地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳や印鑑の預かりなどのお手伝いをします。

《現状と課題》

金銭管理や生活上の様々な支援によって契約している方の日常生活は安定させることが出来ています。しかしながら、浪費等の予防のために金銭管理等が必要な方であっても本人の同意がないために契約できず、支援に入れない、などの課題があります。

契約人数10名（認知症高齢者4名、精神障害者2名、知的障害者2名、その他2名）
※新規契約者1名

訪問	394回
電話連絡	247回

（12）地域生活支援事業「おたがいさん」

《事業の概要》

支援の必要な方に対して暮らしのちょっとした困りごとを有償サポーターにお手伝いしていただくことで、地域のたすけあい活動を進めていきます。また活動の際には、利用者本人にも無理のない範囲の協力をお願いし、サポーターと共に行う活動を目指しています。

《現状と課題》

定期的に入って欲しいという利用者が増えてきた為、サポーターの確保が難しいです。シルバー人材センターの活用など、本当にこの事業でしか引き受けられないケースかどうかをまず、初回訪問で確認しています。また、買い物支援など頻回に入らないといけないケースや重篤なケースは他のサービスの利用をすすめています。

・サポーター登録者　24名

・依頼世帯　実人数　26名

本人の状況	家族状況	人数
高齢	独居	10
	夫婦	3
	介護者を抱える家族	4
	障害のある家族	2
	二世帯（日中独居）	2
障害	独居	1
	障害者を抱える家族	1
	二世帯（日中独居）	1
経済困窮	独居	1
その他	多子世帯	1

・相談経路

ケアマネジャー	5
地域包括支援センター	6
民生委員・児童委員	4
本人	7
社協	2
役場窓口	1
近隣住民	1

・依頼延件数

件数	活動サポーター
179 件	202 名

・依頼内容 186 件

内容	件数
清掃	49
通院付添	27
買い物	33
修理	18
草引き	13
洗濯乾燥	13
粗大ごみ運搬	4
薬受け取り	3
布団干し	2
送迎（徒歩）	2
障子の張り替え	3
庭木の剪定	3
窓ふき	2
その他	14
合計	186

（1 件の依頼で複数の活動を行ったケースがあった）

(13) 介護ボランティアポイント事業

《事業の概要》

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者による介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、地域貢献や社会参加を促進し、自分自身の介護予防や、地域の介護予防を推進することを目的として実施しています。

町内に住所がある 65 歳以上の人（介護保険の要介護認定を受けている人などは除く）が対象です。町が指定する社会福祉法人などの施設（受入施設）でボランティア活動を行った場合に、その実績に応じてポイントを付与します。ポイントに応じ、活動交付金（稲美町共通商品券）を交付します。

《現状と課題》

平成 29 年度より稲美町から委託事業として受託し、実施しました。ボランティア登録された方からは「施設の職員さんと一緒に活動でき、社会参加できて嬉しい」という声をいただいています。

登録ボランティア	18 名
手帳発行部数	18 冊
実際の活動先	3 か所
登録活動先	9 か所

	施設活動	在宅活動	合計
活動ポイント数	398	119	517

2　当事者への支援

(1) 介護者のつどい「さくら草の会」

《事業の概要》

介護者がつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと心のリフレッシュを目的としています。介護の種別は問いません。

原則毎月第４金曜日　１０時～１２時

《現状と課題》

参加者の希望をもとに学習会や施設見学なども実施しています。新しく参加される方が年間１～２名程度で、年数を重ねるごとに介護を終えられた方の参加割合の方が多くなっています。

会の内容は充実しているのでもっと多くの方に参加頂けるような広報が課題です。

実　施　日	参加者	内　容
４月２８日（金）	１６名	おしゃべり会
５月２６日（金）	１６名	施設見学（特別養護老人ホーム泰生）
６月２３日（金）	１４名	ニュースポーツ、勉強会（介護保険改正について）
７月２８日（金）	１３名	バス旅行行先検討、おしゃべり会

８月２５日（金）	１４名	実習生との交流会
９月２２日（金）	１６名	施設見学（パストラール加古川）
１０月２７日（金）	１６名	バス旅行（神戸どうぶつ王国）
１１月２４日（金）	１６名	勉強会（エンディングノートについて①）
１２月１５日（金）	１６名	手芸、おしゃべり会
１月２６日（金）	１５名	勉強会（エンディングノートについて②）
２月２３日（金）	１１名	おしゃべり会
３月２３日（金）	１３名	次年度計画策定

(2) 認知症を学ぶ会「ほっとファミリー」

《事業の概要》

認知症の方を支えている皆さんがつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと「ほっ」とできる場づくりを目的としています。

原則毎月第４木曜日　１０時～１２時

《現状と課題》

現状としては、定期参加のメンバーが多数を占めており、気兼ねない話し合いができる場となっています。また、稲美町外の介護者家族なども幅広く受け入れる形にしております。その反面、定期参加しているメンバーの高齢化や新規メンバーが定着しにくいといった点から、メンバー数が減少し、例会の内容が恒常化している課題があります。

実　施　日	参加者	内　容
４月２７日（木）	１１名	おしゃべり会
５月２５日（木）	８名	おしゃべり会
６月２２日（木）	６名	おしゃべり会
７月２７日（木）	６名	おしゃべり会
８月２４日（木）	７名	おしゃべり会
９月２８日（木）	５名	おしゃべり会
１０月２６日（木）	６名	おしゃべり会
１１月１６日（木）	５名	おしゃべり会
１１月３０日（木）	９名	バス旅行（フルーツフラワーパーク、有馬温泉）
１２月２１日（木）	７名	おしゃべり会（クリスマス会）
１月２５日（木）	９名	おしゃべり会
２月２２日（木）	７名	おしゃべり会
３月２２日（木）	９名	おしゃべり会

(3) 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

《事業の概要》

発達障害などのちょっとした違いで社会の中でうまく距離感がつかめない、などの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会です。

原則毎月第２水曜日　１０時～１２時

《現状と課題》

潜在化しがちな生きづらさを抱える親の貴重な情報交換の場になっています。しかしながら、潜在化しているがゆえに対象者の把握が難しく、またこのつどいに参加するための心的障壁が高いことから参加者数が伸び悩んでいると思われます。

実　施　日	参加者	内　容
４月１２日（水）	５名	おしゃべり会
５月１０日（水）	４名	おしゃべり会
６月１４日（水）	８名	おしゃべり会
７月１２日（水）	４名	おしゃべり会
８月　９日（水）	４名	おしゃべり会
９月１３日（水）	４名	おしゃべり会
１０月１１日（水）	４名	おしゃべり会
１１月　８日（水）	５名	おしゃべり会
１２月１３日（水）	６名	おしゃべり会
１月１０日（水）	５名	おしゃべり会
２月１４日（水）	６名	おしゃべり会
３月１４日（水）	４名	おしゃべり会

(4) 子育てひろば事業

平成２９年度子育てひろば事業　　（ひろば設置数８ヶ所）

日にち	内　容	場　所	参加者
6月 28 日	子育てフェスティバル	加古福祉会館	保護者 89 名 子ども 105 名 写真コーナー、ぽん菓子コーナー出店協力

10月16日	子育て広場リーダー会議	いきがい創造センター	広場リーダー5名 県民局1名 子育て支援センター2名

三世代交流事業

日にち	内　容	場　所	参加者
4月11日	三世代交流事業打合せ	いきがい創造センター	福祉課1名 児童館3名 子育て支援ｾﾝﾀｰ4名
6月30日	三世代交流事業打合せ	いきがい創造センター	福祉課1名 児童館3名 子育て支援ｾﾝﾀｰ4名
8月8日	三世代交流事業打合せ	いきがい創造センター	福祉課1名 児童館3名 子育て支援ｾﾝﾀｰ4名
10月22日	三世代交流事業 「いなみっこランド」 で遊ぼう！	いなみ野体育センター	参加親子97組324名 （子ども178名、大人146名）
11月7日	三世代交流事業反省会	いきがい創造センター	福祉課1名 児童館3名 子育て支援ｾﾝﾀｰ2名

その他　取り組み

・社協だよりに子育てひろば情報を掲載（ひろば事業の広報・関連行事の告知）

・町内イベント時等へ託児ボランティア派遣

・夏休みボランティアスクールとひろばの連携企画（おもちゃライブラリー）

(5) 個別支援

・当事者のオープンかふぇ参加支援（F氏）　11回

（S氏）　11回

・当事者（E氏）への電話・来所相談受付（1名に対して）10回

3　小地域福祉活動の推進

(1) 福祉委員活動状況

4月27日　　役員会（総会に向けて）
5月　3日　　ふれあいまつり参加　ポン菓子、福祉体験　21名参加
5月19日　　福祉委員会総会　（加古福祉会館）
　　49名出席
　　社会福祉協議会・福祉委員活動の説明、福祉会費・福祉懇談会依頼　等
6月　　福祉会費納入月間　4,247,450円
7月21日　　福祉委員交流研修会（いきがい創造センター）　38名
　　地域生活支援事業　おたがいさんについて、意見交換
8月21日　　役員会（共同募金について、合同研修会、まつりについて）
9月15日　　自治会長・福祉委員合同研修会（いきがい創造センター）
　　「車いすの景色」
　　講師：　松浦　準氏
　　福祉委員48名、自治会長46名、理事5名出席
10月　　共同募金運動　5,461,918円
　　街頭募金（10月3日）　1名
　　（にじいろふぁーみん・コープこうべ）
11月2･3日　　社協福祉ボランティアまつり　準備　12名　当日25名
11月6日　　福祉講演会　（いきがい創造センター）
　　あるがままとなすがまま　～ふくし哲学、生老病死を通じて「自分」を再発見～
　　講師：阿江 善春氏
　　88名参加（うち福祉委員12名）
12月　　歳末助け合い運動　1,299,009円
2月22日　　役員会（共同募金報告、1年の振り返りについて、アンケート結果について）
3月10日　　耳の日の集い　講演「聴覚障害の基礎知識」福祉委員参加1名

福祉委員アンケート回収：49人／65人
1:認知症や介護予防のために　定期的にやっていることがある（19）たまに（8）
　　気にはなっているが何もしていない（20）
2:安心して暮らせる地域にするために、何があればよいと思うか
　移動手段（6）、自由に集える憩いの場（5）、徒歩圏内にスーパーや病院（5）
　安価な介護施設（4）

(2) 福祉懇談会開催状況

■ 17 自治会（七軒屋自治会が 2 回開催）　延べ 351 名参加

加古地区	母里地区	天満地区	天満東地区	天満南地区
七軒屋（いきいき広場） （6 月 27 日） 七軒屋 （7 月 8 日） 上新田 （7 月 8 日） 三四軒屋 （9 月 24 日） 六軒屋 （10 月 13 日） 大沢 （10 月 29 日）	川北 （9 月 24 日） 草谷 （11 月 26 日）	西和田 （7 月 1 日） 中一色 （8 月 5 日） 稲美野荘園 （9 月 2 日） 北山 （11 月 12 日）	岡西 （7 月 14 日） 十七丁 （8 月 26 日） 百丁場連合 （9 月 2 日） 相ノ山 （11 月 2 日）	東山 （9 月 10 日） 六分一山 （11 月 25 日）

■ テーマ（七軒屋自治会が 2 回開催のため合計は 18 自治会）

「介護保険について」…5 自治会

「懇談会」…4 自治会

「地域生活支援事業（おたがいさん）について」…3 自治会

「災害対応カードゲーム（クロスロード）」…2 自治会

「老い支度を考える講座（エンディングノート）」…2 自治会

「認知症サポーター養成講座」…1 自治会

「避難行動要支援者の支援について」…1 自治会

(3) いきいきサロン実施状況

《事業の概要》

月 1 回、おおむね 65 歳以上の高齢者が地域の公民館等に集い、ニュースポーツや体操、手工芸や脳トレなどで午前中の約 2 時間を過ごす事業です。ハートスタッフを専任で配置し、毎年会場ごとに事業の計画を行っています。必要に応じてボランティアを配置しています。原則は、歩いて行ける地域の公民館が会場ですが、高齢や障害等により移動が困難な方には送迎サービスも行います。

多様なニーズに見合う事業を展開することで、高齢者の健康づくり、閉じこもり予防、生きがい対策を推進し、健康長寿の実現を目指しています。

《現状と課題》

町全体の高齢者数は増加しているが、参加者は減少しています。
どこの会場でも会長等役員のなり手に苦労しておられます。お道具の運搬が負担になってきている地区も増えてきています。(軽トラ・車がない、免許がないなど)

健康長寿の実現のためには社会と多くの接点を持つことが不可欠であるということは、多くのデータが示唆しています。老人クラブに入会し、高齢者自身が積極的にサロンに参加したいと思えるような動機づけが必要ですし、また、できるだけ役員の負担を軽くする工夫も必要かと思われます。

55 会場でいきいきサロン開催

ハートスタッフ　21 人、　ボランティア　13 人

	参加実人数	参加延べ人数	新規参加者
平成 29 年度	1,356 人	9,917 人	122 人
平成 28 年度	1,392 人	10,438 人	121 人
平成 27 年度	1,467 人	10,922 人	123 人
平成 26 年度	1,448 人	11,058 人	152 人
平成 25 年度	1,433 人	10,774 人	148 人
平成 24 年度	1,464 人	10,891 人	162 人

・28 年度から全会場で体力測定を実施　55 個所
・ハートスタッフ会議　4 回
・ハートスタッフ研修　「認知症予防体操（コグニサイズ）リーダー養成講座」
・サロンボランティア会議　2 回

4　連絡調整事業の推進

(1) 各機関連絡調整会議

（兵庫県社会福祉協議会管轄）

社協会長会議	2 回
評議員会	1 回
事務局長会議	3 回
生活福祉資金貸付事業担当者会議	1 回

日常生活自立支援事業担当者会議	1回
日常生活自立支援事業　専門員・担当者研修会	1回
市町・市町社協ボランタリー活動支援連携会議	1回
社協ワーカー実践研究会議	1回
法人後見市民後見推進研修	1回
生活支援コーディネーター情報交換会	2回
生活困窮者自立支援事業意見交換会	1回
災害ボランティアコーディネーター養成研修	2回
地域共生社会づくりセミナー	1回

（東播磨ブロック管轄）

東播磨ブロック協議会総会	1回
東播磨ブロック協議会事務局長会議	1回
東播磨ブロック協議会職員部会	1回
生活支援コーディネーター情報交換会	2回
日常生活自立支援事業専門員・担当者情報交換会	1回
東播磨ブロック生活支援員研修会	1回
生活福祉資金貸付事業にかかるブロック別意見交換会	1回

（兵庫県共同募金会管轄）

評議員会	2回
募金部会	1回
事務局長会議	2回
職員研修会	2回

（加古川健康福祉事務所管轄）

東播磨臨海精神保健協会	2回
東播磨圏域健康福祉推進協議会	1回
健康ひょうご21県民運動東播磨会議	2回
精神障害者地域移行支援事業関係機関連絡会	1回

（加古川医師会管轄）

在宅医療推進協議会第6回総会	1回
医療・介護ケア連携研修会	1回
DNAR講演会（加古川医療センター）	1回

（稲美町管轄）

地域ケア会議	1回
稲美町国民健康保険運営協議会	1回
稲美町要保護児童対策地域協議会	2回
地域包括支援センター運営協議会・ 　地域密着型サービス運営委員会	1回
稲美町障害者福祉推進協議会	3回
避難行動要支援者支援連絡会	1回
稲美町行財政改革懇談会	1回
稲美町まちづくり活動サポート補助金交付審査会	1回
ふれあいまつり関連会議	5回
大池まつり関連会議	5回
トライやるウィーク実行委員会（稲美北・稲美中）	6回
地域公共交通会議	3回
相談担当者連絡会	5回
認知症相談窓口担当者連絡会	5回
稲美町地域ネットワーク会議	3回
稲美町子ども・子育て会議	3回
稲美町健康づくり推進協議会	4回
稲美町地域自立支援協議会 　全体会（2）・運営会議（7）・専門部会（5） 　ワーキングチーム（14）・研修、視察（2）	合計30回
自立支援協議会3市2町連絡会	1回
稲美町まち・ひと・しごと創生推進委員会	1回

（その他）

地域ケア研究大会　「おたがいさん」について発表	1回
加古川地区防犯協会総会	1回
社会福祉夏季大学に代わり、県民フォーラム	1回
県社会福祉大会	1回
社会を明るくする運動	1回
ストップ・ザ・無縁社会キャンペーン推進協議会総会	1回
社会福祉制度改革説明会（県主催）	2回
災害時要援護者サポートミーティング	1回
熊本災害関連報告・情報交換会	1回

災害福祉支援フォーラム　　1回
健康ひょうご21県民運動推進フォーラム、研修会　　2回
県民運動推進員・8020運度推進員研修　　1回

(2) 東播磨ブロック社協職員業務研究会

月　　日	内　　容	場　　所
9月28日	若手社協職員の集い	小野市福祉総合支援センター
12月11日	社協内における各部署との連携のあり方について	加西市健康福祉会館
2月5日	広報をどう魅力的にしていくのか	加東市社福祉センター

5　相談事業の推進

(1) 心配ごと相談所

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として司法書士、社会福祉士、学識経験者（民生委員児童委員経験者）の３人体制で様々な相談に応じます。事前予約は必要ありません。週ごとに会場を変えて実施しています。

《現状と課題》

毎回の相談に司法書士が参加し、比較的相談をゆっくりお聞きすることができるので問題解決に向けて頼りになる相談窓口として機能しています。しかしながら広報が行き届いておらず、開催回数の割に利用件数が非常に少ないのが現状です。空いている時間は社協に寄せられる相談に助言を頂いています。

開催日・場所　　第1木曜日　総合福祉会館
　　第3木曜日　母里福祉会館
　　第4木曜日　障害者ふれあいセンター
時　　間　　13時30分～15時
相　談　員　　民生委員児童委員・司法書士・学識経験者　計13名、事務局職員
相談利用者　　延べ8名

(2) 法律相談

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として弁護士が法律的な相談に応じます。

《現状と課題》

弁護士が相談対応することで心配ごと相談よりも法的に複雑かつ広範囲な相談に応じています。しかしながら広報が行き届いておらず、開催回数の割に利用件数が少ないのが現状です。

また社協が相談内容を詳細には把握していないのでフォローできる相談がそのままになっている可能性があるのが課題です。

開催日・場所　第2木曜日　障害者ふれあいセンター
時　　間　13時30分～15時30分
相　談　員　弁護士
相談利用者　延べ26名

(3) 生活福祉資金等貸付相談

《事業の概要》

高齢者世帯や障がい者世帯、低所得者世帯に子どもの学費や離職してしまった際の生活費などの資金を貸付することで世帯の自立を支援しています。

《現状と課題》

資金の貸付可能の有無に限らず、経済的課題を抱える方の相談に応じています。そんな中で、貸付の資金種類は多岐に渡るものの、実際の申込に至るのは教育支援資金（教育費）と総合支援資金（離職者支援）の２種類のみというのが現状です。また相談自体も件数が多い訳ではなく、本資金の広報面で課題があります。

① 生活福祉資金における相談実人数　２３名

② 生活福祉資金における貸付相談対応件数

相談方法	相談元	相談対応件数
電話によるもの	借入希望者・借受人等	１８件
	関係機関	２１件
来訪によるもの	借入希望者・借受人等	４８件
	関係機関	２件

(4) その他の相談

面接　577 回

電話相談受付　529 回

6　福祉教育推進事業について

(1) 福祉教育出前講座

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育んでいく為に出前講座を行っています。講演会や車いす体験など学校のご要望に応じて調整を行います。

《現状と課題》

車椅子体験だけでは「大変」「不便」のイメージだけで終わってしまいます。車いす体験では当事者の方のお話を聞く事で障害のある方の暮らしを実際に知ってもらい、理解を深めています。

加古小学校	5 月 30 日　6 年生 32 名　障害者ふれあいセンター見学
加古小学校	5 月 30 日　6 年生 32 名　車椅子体験
稲美中学校	10 月 25 日　1 年生 126 名　福祉講座
天満小学校	11 月 28 日　5 年生 108 名　車いす体験
母里小学校	2 月 9 日　6 年生 31 名　車椅子体験

（職員が出向いて福祉についての講義）

(2) 福祉教育推進事業指定校活動報告

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育んでいく為の学習を支援する事業です。毎年、町内の小中学校（全校）、保育園幼稚園（１園）に助成を行っています。

《現状と課題》

各校で様々な取り組みを企画、実施していただき、実施状況を報告書にまとめて年度末に提出いただいております。各校ごとに特色ある内容で実施しており、園児や児童が福祉に触れ合う機会の一助になっている様子が伺えます。

稲　美　中　学　校	■七夕交流会 ・いなみ野特別支援学校中学部、稲美北中学校特別支援学級との交流 ■レクリエーション ・肢体不自由の生徒も含めレクリエーションの実施 ■福祉体験学習 ・社協職員による福祉講話 ・町内福祉施設へ訪問、交流 ・インスタントシニア体験（高齢者疑似体験装具を装着、理解促進） ■職業講話 ・理学療法士による講話
稲 美 北 中 学 校	■年間定期活動 ・生徒会厚生委員会による老人福祉施設訪問 ■吹奏楽部 ・町内福祉施設にてコンサート ・加古小学校区子ども会イベント ・天満地区ふるさとまつりにて演奏 ・加古地区ふるさとまつりにて演奏 ・天満第1、第2放課後児童クラブサマーコンサート ・天満小学校区子ども会お楽しみコンサート ・六軒屋自治会イベントに参加 ・ＪＡフェスティバルに参加 ・作業所合同交流クリスマスコンサート
加　古　小　学　校	■福祉委員会活動（通年実施） ・アルミ缶収集（アルミ缶回収の収益を稲美町社協へ寄附） ■1年生 ・児童の祖父母との交流 ・幼稚園交流 ■2年生 ・1年生と交流（校内体験） ・幼稚園児、保育園児と音楽交流 ■3年生 ・文化の森やさしさ発見隊（バリアフリーについて考える） ・地域住民と交流（田植え、稲刈り体験） ・障害理解の学習（盲導犬とのふれあい、点字学習体験） ■4年生

	・点字学習体験 ・手話学習体験 ■5年生 ・いのちの話（沼田クリニック院長の話） ■6年生 ・車椅子体験 ・稲美町社会福祉協議会より障害者福祉についての話 ■すぎのこ学級、たけのこ学級、そよかぜ学級 ・2年生との交流（クイズや、清掃を通じて交流） ・他校特別支援学級児童生徒との交流（遠足、バス旅行、クリスマス会を通じて交流）
母里小学校	■体験活動（トマト名人の指導の下、2年生が栽培） ■田植え～稲刈り（おはぎ作りまでを3年生が実施） ■職員研修 ・民生委員懇談会 ・兵庫県人権教育大会東播磨大会 ■特別支援学級陶芸教室（陶芸サークルと陶芸作品の制作） ■老人クラブとの交流会（グランドゴルフをしながら6年生が交流） ■学習発表会（家族や地域住民を招いて全校生が実施） ■芸術鑑賞会（母里幼稚園、保育園児を招待） ■体験学習（養護教諭からの講話） ■健康安全セミナー（禁煙の正しい知識について6年生を対象に学習） ■稲同協研究大会（教職員参加） ■車いす体験学習 ■校外学習（こばと園へ2年生が訪問） ■6年生を送る会（全校生） ■くすのき、こすもす、わかくさ学級との交流（通年で学校全体で関わりを深め、全校生と給食交流） ■じんけんわくわくスクール（通年） ■いなみ野特別支援学校の児童と交流（通年）
天満小学校	■お年寄りといっしょに ・短歌、戦争体験の話等を通じてお年寄りと交流 ■車椅子体験 ■点訳体験学習 ■盲導犬教室 ■お話会

	■高齢者訪問（花、千羽鶴、手紙を持ち、校区内の高齢者宅を訪問） ■音楽鑑賞会（音楽会へ高齢者を招待） ■禁煙教室 ■特別支援教育交流活動 ■外国語活動（通年実施） ■食育、環境学習（野菜、花の栽培や魚の飼育など） ■ボランティア活動（通年で毎週金曜日朝に実施） ・アルミ缶や古紙回収の収益寄付
天満東小学校	■高齢者との交流 ・笛に親しもう ・琴を奏でよう ・民族楽器に親しもう ・平和への願い ■いなみ野特別支援学校との交流 ・学年交流（ゲーム） ■福祉体験学習 ・車椅子体験、車椅子当事者の講話 ・手話体験 ・盲導犬体験 ■思いやり、命を大切にする心を育む活動（通年実施） ・花、野菜等の栽培 ・生き物の飼育 ・特別支援学級との交流給食
天満南小学校	■福祉体験学習 ・野菜栽培体験（特別支援学級の児童が体験） ・地球音楽、琴体験 ・特別支援教育校内研修 ■高齢者との交流 ・運動会（1、2年生が高齢者と玉入れ） ・なんなんフェスタ（老人クラブ、保護者、地域住民と交流） ・どんど大会（老人クラブ、保護者、地域住民と交流） ・昔遊び交流（児童の祖父母と竹馬、コマ回し等をして交流） ・校区内の独居高齢者と交流（さつまいも、花、手紙を届ける） ・感謝の集い（登下校ボランティアへ感謝を伝える） ■体験活動 ・アルミ缶収集

	・ペットボトルのふた収集 ・芸術鑑賞会 ・募金活動（赤い羽根共同募金、ユニセフ募金） ・1日体験入学（来年度新入生と、現1年生が図工等を通して交流） ・6年生を送る会 ・交流給食 ■環境整備奉仕活動 ・親子で校内美化活動
加古幼稚園	■地域の高齢者と交流 ・おもちつきなど

(3) 社会福祉士相談援助実習生受入れ

受入れ期間	受入人数	備　考
8月7日～9月11日	2名	兵庫大学と神戸医療福祉大学より各1名
10月30日～12月5日	1名	豊岡短期大学

(4) トライやるウィーク受入

受入れ期間	受入人数	備　考
6月5日～6月9日	10名	稲美中学校4名、稲美北中学校6名

7　ボランティアセンター事業の推進

(1) ボランティアコーディネート

《事業の概要》

住民とボランティアをつなぐお手伝いをしています。どんな分野でいつ活動をしたいのか、ボランティアコーディネーターがお話をうかがい、その方に合った活動をご紹介させていただきます。

《現状と課題》

ボランティア活動者は減少傾向にあり、ボランティア養成講座を開催しても参加者がなかなか集まらないのが課題です。

一方でボランティア活動をしている方からは「ボランティア活動をして利用者と関わることで

元気になれる」「勉強になった」とやりがいや充実感を感じて取り組んでいただいている様子がうかがえます。

さらに、オープンカフェや、福祉施設をご紹介し、日々練習してきた成果を発揮していただくことにより、多くの方の自己実現の機会ともなっています。

相談：40件（新規登録39名）情報提供希望者含

(2) 活動相談、依頼・助言等

ボランティア相談　　78回（来所者49名）

(3) ボランティアスクール

《事業の概要》

ボランティア活動経験のない方、初心者にボランティア活動体験をする機会を提供しています。体験を通して地域に生きづらさを抱える方がいらっしゃること、誰かのために活動されるボランティアさんがいることを知り、支えあう地域づくり、ひとりぼっちを作らない地域をめざす活動について知っていただきたいと思います。

《現状と課題》

参加者が少ない活動もありますが、当事者との交流や夏休みにボランティア体験をするよい機会になっていますので今後も引き続き続けていきたいと思っています。講座の中には受付開始後すぐにいっぱいとなり、応募が締め切られるものもあり、ボランティアのやりがいにもつながっています。

■小学生の部　（延べ参加者40名、延べ協力ボランティア20名）

日にち	時間	内容	場所	参加者
8/2 （水）	10:00～ 12:00	切り絵で描こう！海の仲間 （有志ボランティア）	障害者ふれあいセンター	24名 協力ｖ4名
8/4 （金）	10:00～ 12:00	朗読体験 （朗読ボランティアせせらぎ）	いきがい創造センター	1名 協力ｖ6名
8/9 （水）	13:30～ 15:00	車いす体験 （リハビリ訓練ボランティア）	障害者ふれあいセンター	15名 協力ｖ10名

■小学生・中高生～一般の部

（延べ参加者37名、延べ行事参加者85名、協力ボランティア52名、実習生2名）

日にち	時間	内容	場所	参加者
7/27 (木)	13:30～ 15:30	ペットボトルで作る寄せ植え (花一輪まちづくりの会)	障害者ふれあいセンター	9名 協力V11名
7/28 (金)	9:00～ 12:00	ゆかた着付け教室 (前結び藤の会)	加古福祉会館	1名 協力v9名
8/3 (木)	10:00～ 12:00	手話体験 (手話サークルいなみ)	障害者ふれあいセンター	12名 協力v8名 ろうあ協会3名
8/6 (日)	7:00～ 8:00	ゴミゼロ大作戦 (稲美ぽっかぽかグループ)	稲美町役場周辺	6名 協力v13名
8/10 (木)	10:00～ 11:30	傾聴将棋 (傾聴ボランティア陽だまりの会)	障害者ふれあいセンター	6名 協力v8名
8/22 (火)	9：30～ 12:00	わくわくスポーツ交流大会 (社協　実習生)	加古福祉会館 きらめきホール	3名 参加者85名 実習生2名

(4) 各種養成講座の実施

①要約筆記啓発講座

日にち	場所
6月15日～7月13日（全4回）	障害者ふれあいセンター

参加者のべ4名（活動継続1名）

②ボランティア講座（オープンかふぇの中で実施）

日にち	内容	場所	参加者
4月14日	コミュニケーション麻雀 講師　入江政行氏	障害者ふれあいセンター	10名
5月12日	懐かしのメロディー 演奏　西川正人氏	障害者ふれあいセンター	20名
6月9日	トライやるかふぇ 講師　トライやる中学生	障害者ふれあいセンター	20名
7月14日	歌謡曲かふぇ 講師　POPスター	障害者ふれあいセンター	16名
9月8日	大正琴かふぇ 演奏　和みの会	障害者ふれあいセンター	21名 実習生2名

10月13日	秋の絵本かふぇ 講師　らくちん座	障害者ふれあいセンター	18名
11月10日	「くすくす」コンサート	障害者ふれあいセンター	31名
12月8日	ちぎり絵　講師工藤雅子氏	障害者ふれあいセンター	21名
1月12日	三線かふぇ　演奏　あかばなー 和かふぇ	障害者ふれあいセンター	24名
2月9日	落語　「道具屋」 演者　友澤　幸嗣氏	障害者ふれあいセンター	24名
3月9日	マット編み体験 講師　ワークルームふれあい	障害者ふれあいセンター	8名

参加者213名

④手話入門講座

日にち	場所	参加者数
9月4日～2月26日 （全20回）	障害者ふれあいセンター 多目的室	延68名 活動継続者　1人

⑤手話通訳者養成講座（応用）
6月2日～12月8日　毎週金曜日　全23回
受講者のべ名　158名

⑥傾聴ボランティア講座

実施日	内容	講師	参加者
1月29日	コミュニケーションの基本	心理カウンセラー 稲松　由佳氏	10人
2月5日	傾聴の技術		9人
2月19日	グループでのコミュニケーション		7人
2月26日	稲美町の高齢者の現状	地域包括支援センター 米澤　有里氏	8人
	認知症について	グループホームにしむら 梅谷　公子氏	

3月 5日	活動先紹介	稲美町傾聴ボランティア	6人

（申込人数15名　　延べ参加人数40名）

(5) 傾聴ボランティアグループ活動の支援

・傾聴ボランティア人数　　27人
・傾聴ボランティア派遣延べ人数　　994人　　418回
・定例会の実施　　12回
・役員会の実施　　12回

傾聴ボランティア活動状況　（延べ人数と活動回数）

対象者（施設）	活動回数	ボランティア延べ人数
施設傾聴（稲美苑、サンライズ、宅老所憩いのとき）	94回	351人
他ボランティア協力（稲美苑音楽リハ、エコクラブ）	156回	278人
傾聴将棋	34回	92人
個人傾聴（対象は13件）	134回	273人
計	418回	994人

(6) ボランティアルームの利用

ボランティアルームミーティングスペース利用回数　延120回
利用者数　延785名

(7) ふれあいまつり

5月3日
模擬店コーナー：ポン菓子
福祉体験コーナー：車椅子
ボランティア16名、福祉委員21名

内　　容
ポン菓子@50円×523個

(8) いなみ大池まつり

8月12日　ポップコーンの販売（160食）　売上は善意銀行に寄付

(9) 交流会

視覚障害者交流会

日にち	内容	場所	参加者
8月31日	スポーツ交流会	障害者ふれあいセンター	4名 協力ｖ4名 実習生1名
9月28日	視覚障害者バス旅行	杉原紙研究所	6名 協力ｖ5名
2月16日	ピザづくり	加古福祉会館	3名 協力ｖ1名

参加者延べ13名　協力ｖ10名　実習生1名

聴覚障害者交流会（耳の日のつどい）

実施日	内　容	人　数
3月10日	聴覚障害の基礎知識	24名

稲美町ろうあ協会会員、手話サークル会員、稲美難聴者会、要約筆記サークルひだまり、一般

(10) ボランティア連絡会の開催

■連絡会会議

実　施　日	内　　容
4月18日	第1回ボランティア連絡会 役員、前年度決算報告と事業報告、今年度予算と事業計画、 スポーツ交流、ふれあいまつり、トライやるウイークについて
6月13日	第2回ボランティア連絡会 夏休みボランティアスクール、社協福祉ボランティアまつり等について
9月12日	第3回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティアまつり等、バス研修、交流会について
1月16日	第4回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティア祭り、バス研修、交流会等について報告 啓発講演会、来年度事業計画について

ボランティア連絡会の構成
グループ数　　25グループ
会員数　　354名

■各ボランティア総会

月　　日	内　　容	場　　所	人　数
2月21日	給食ボランティア代表者会議	いきがい創造センター	9名
3月7日	リハビリボランティア会議	総合福祉会館	11名 運転V　2名 健康福祉課　2名
3月20日	運転ボランティア会議	障害者ふれあいセンター	7名
3月29日	手話サークル総会	障害者ふれあいセンター	13名

(11) ボランティア登録者

ボランティア連絡会の構成
グループ数　　25グループ
会員数　　354名
ボランティアセンター　グループ数　5グループ
　　会員数　52名
　　個人　9名

(12) ボランティア保険への加入手続き

加入者数：1,644人
ボランティア保険の適用を申請された方＝社協関係者1人
　　外部団体　0人

8　啓発活動

(1) 広報紙等の発行　毎月

(2) 各種ボランティア募集チラシの発行

1	給食調理ボランティア
2	花一輪まちづくりの会ボランティア
3	おもちゃライブラリーボランティア
4	運転ボランティア「わかば」ボランティア
5	要約筆記ボランティア
6	朗読ボランティア

7	どんまい!!れんげ草ママの会 イベントサポートボランティア
8	いきいきサロンボランティア
9	社協オープンかふぇ
10	傾聴ボランティア
11	社協福祉ボランティアまつりボランティア

9　その他

(1) 福祉会費　　4,247,450　円

《事業の概要》

住民を会員として町全体の福祉活動をすすめる社会福祉協議会の運営維持経費及び相談事業、ボランティア関係事業、地域福祉推進事業を支える会費です。

《現状と課題》

自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの世帯にご協力をいただいています。しかしながら、自治会の負担面から一括での納付が進んでいることもあり世帯個々が福祉会費を納めている実感がないのが現状です。住民を会員とする社会福祉協議会であること、その活動財源に住民が協力をしていることについての広報が行き届いていないことが課題です。

(2) 共同募金

《事業の概要》

社会福祉法に規定され、厚生労働大臣の告示により全国一斉に展開される募金運動です。地域福祉を進めるための財源として、社会福祉協議会のみならず、ボランティアグループや障害者団体等の活動費として配分されます。

《現状と課題》

住民や企業・商店等多くのご協力とその募金を集めて頂く自治会、福祉委員、民生委員児童委員など多くの募金ボランティアのご尽力によって多額の募金を頂いています。
しかしながら全国的な傾向ではありますが、年々募金額が減少しています。多くの方に募金の意義をご理解頂けるような広報の在り方が課題です。

目標額　5,749,000円　　達成率　95.0%

内　　容	金　　額
戸別募金	4,094,541
学校募金	98,257
法人募金	1,090,000
職域募金	142,524
街頭募金	9,083
イベント募金	9,262
その他	18,251
合　　計	5,461,918

平成30年度稲美町へ配分金として　4,984,000円

(3) 歳末たすけあい運動

《事業の概要》

「つながり　ささえあう　みんなの地域づくり」をスローガンに、共同募金の一環として行われる募金運動です。経済的支援が必要な方への配分や火災などに罹災された方へ配分されます。

《現状と課題》

福祉会費及び共同募金と同様、自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの方のご協力を頂いています。使途については大部分を歳末配分金が占めており、対象者の推薦を民生委員児童委員にお願いしています。しかしながら、個人情報や経済的支援の側面から対象者の抽出が難しく、十分な配分が行き届いていないのが現状です。

収入内訳

内　　容	金　　額
戸別募金	1,268,980
街頭募金	30,000
その他	29
合　　計	1,299,009

支出内訳

内　　容	金　　額
特別支援学級・学校修学旅行助成	170,000

歳末配分金	622,000
保育園助成金	276,000
事務費	24,810
次年度繰越金	206,199
合　　計	1,299,009

＊歳末助け合い配分：88 世帯　179 人へ

(4) 善意銀行

《事業の概要》

住民の「世の中の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という善意を生かすために現金、物品等の寄付をお預かりして、これを社会福祉団体や生活にお困りの方などに払い出し、地域福祉の推進のための橋渡しや個別支援をする仕組みです。

《現状と課題》

粗供養として善意銀行に寄付を下さることが一般的であった時代に比べると募金総額は大きく減少してきていますが、依然として、地域における住民や団体、企業等の寄付窓口として多くの方々にご協力を頂いています。今後、身寄りのない方の善意の拠り所としての遺贈等広く寄付を受け付けられる仕組みの整備が課題です。

預託金等

預託金	1,082,404 円	67 件
葉書	9,566 円相当	3 件
切手	2,960 円相当	1 件
お米	546ｋｇ	11 件
車椅子	4 台	4 件
布団	4 枚	1 件
タオル	多数	2 件
肌着	多数	1 件
介護パンツ	多数	3 件
ベッド柵	2 つ	1 件
テレホンカード	6 枚	1 件
ふみカード	1 枚	1 件
お皿	8 枚	1 件

ブランケット	4枚	1件
レジャーシート	2枚	1件
収納ボックス	1つ	1件
介護用品	多数	1件
調理器具	多数	1件
食料品	多数	2件

※件数の重複有り。

指定払出等

払　出　先　等	金　　額	物　　品
生活困窮者（8人）	272,316円	お米、食品
生活困窮者返済分（4人）	△190,000円	
らいふサポートくるみ	20,000円	
稲美町つくしとすぎなの会	20,000円	
こばと園	20,000円	
どんまい！！れんげ草ママの会	8,000円	
中央共同募金会（熊本災害義援金）	22,111円	
訪問介護事業所スマイル173	50,000円	
合　　計	222,427円	